2024年度
学校関係者評価報告書

2025年6月27日

学校関係者評価委員会
ホンダテクニカルカレッジ関西

■　学校関係者評価

学校関係者評価とは、学校の自己評価の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する者の理解促進、連携協力による学校運営の改善を図ることを目的としています。具体的には、学校が策定した重点目標、計画の実施について自己評価を行い、その結果を踏まえ、今後の取組方針などについて、学校が選定した学校関係者評価委員に説明し、教育活動、学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言、評価等を頂くことで学校改善につなげることを目指しています。

■　学校関係者評価委員会 開催概要

開催日時：	第1回　2025年6月27日	2024年度 自己評価に基づく関係者評価
	第2回　2025年11月14日	開催予定

開催場所：　ホンダ テクニカル カレッジ 関西

委員長：	水口 和明 様	株式会社　ホンダモビリティ近畿　取締役　管理本部　本部長　コンプライアンスオフィサー
委員：	木村 一年 様	本田技研工業株式会社　コーポレート管理本部人事統括部労政部国内営業人事労政課 主事
	河井 政昭 様	株式会社ホンダ泉州販売　サービス部 部長
	阪上 徳行 様	ホンダ テクニカル カレッジ 関西 後援会 会長

学校側	海沼 弘樹	校長
出席者：	田中 直樹	教頭 兼 学務室 室長（本委員会事務局）
	神通 邦彦	教務部　部長
	後藤 俊介	教務部一級自動車研究開発学科 科長
	長尾 淳一	教務部 自動車整備科　科長
	白石 拓三	教務部 自動車整備留学生科　科長

■ 評価プロセス (第一回委員会)

- 委員会開催前に学校側より委員の方々に2024年度自己評価書をお送りし、ご意見・ご質問をいただきました。
- 委員会では、学校側より学園概要、教育内容、2025年度の重点課題、重点目標を説明し、まず委員会での課題共有を図りました
- その後、2024年度自己評価書の内容説明及び事前にいただきましたご意見・ご質問への回答・コメントをさせていただき、質疑応答を通して意見交換を行い、更に詳細に課題認識を深めました。
- そして、学校関係者評価委員会としてこの最終評価をまとめました。以下に、基準ごとの評価結果を報告致します。

■ 評価結果

基準１：教育理念・目的・育成人材像等

- 明確な教育理念が定められており、社会に歓迎される技術者の育成を期待したい。
- 各校が打ち出す特色にも勝る貴校の魅力度や特色を更に具体的に示し学生確保につなげてください。
- 女性学生の入学者数を増やすなどの取組拡大について、例えば女性教員の増加など検討されていますでしょうか。

基準２：学校運営

- 学生の確保については大変厳しい状況が続きますが、再設定した中長期ビジョンの推進をお願いします。又、留学生の受入れ強化項目に『生活のサポート』とありますが具体的な対応策を教えて下さい。
- Honda Cars等からの期間出向等の受け入れで教員経験を積むことは販売会社にとってもメリットがあると考えます。このような取組を検討する予定はありますか。

基準３：教育活動

- 新整備士資格への対応について、教育カリキュラムの変更など対応策があれば教えて下さい。
- 「優秀な学生に選択される学校」の教育活動とはどうあるべきか？の視点も一考されてはいかがでしょうか。留学生の日本語力向上については、カリキュラム外でも生きた日本語を話す仕掛けを用意することが必要ではないでしょうか。
- 今後、電動化新技術の教育カリキュラムの取り組み、新2級課程の対応も発生することから、留学生教育の在り方について議論を深めて頂くことをお願いします。
- 学生の基礎学力低下に関して、個々に合わせた指導を引き続きご推進いただき、学業不振による退学者数の低減をよろしくお願いいたします。
- 授業評価として授業ごとにアンケートを実施されているということですが、どのような内容で実施し、どのような分析結果になっておられるのでしょうか。
- 危険物取扱等の資格取得について「学生の取り組み姿勢」を課題とされていますが、この課題とされた問題の原因をお聞かせください。また具体的な課題解決の方向性や取組があればお教えください。

基準４：教育成果

- 就職内定率については100%を達成しているものの就職内定時期の遅れが顕著化しており学生指導の強化をお願いしたい。
- 教育機関で適用できるのか分かりませんが、現場レベルでアジャイル・OODAの考え方の導入を検討されてはいかがでしょうか。
- 支援体制によるサポートと学生のマインドの自律。その両輪が重要であると考えます。 (コミュニケーションの充実は欠かせませんが、一方で教職員の負荷やストレス増に繋がる要因もあるため、専門家(キャリアカウンセラー)や、アプリ等の活用でアシストする方法もあると思いす。)
- 優秀な学生の確保が期待できる貴校学生を最大限優先して充足したいと考えています。必要要員数に達するか否かの見通しが立てにくいという状況ですが、就活自体の早期対応をご推進いただけますでしょうか。
- 国家一級・二級整備士資格の取得率100%は、入学希望者にとっても大きな学校特色や魅力、期待となることから、引き続き取得率の向上への取り組みをお願いいたします。

基準５：学生支援

- 就職活動の遅れに運転免許取得が影響していると認識しているが、進路指導の一環として運転免許証の早期取得を合わせて支援していただきたい。
- 世代を超えた卒業生が親睦を深める交流の場として、有益な情報交換の場として卒業生を支援するとともに、学校が同窓生とともに成長発展して欲しいと思います。

基準６：教育環境

- メーカー校としての特色を活かしHondaグループと連携した実践的な実習も行っている。
- 人命に関係する施設(火災報知器)や安全対策が必要な設備(整備用リフト)等、今後も教育環境の整備に関する投資計画は、計画的な推進(順位付け)をお願い致します。

基準７：学生募集と受け入れ

- 国内の社会的背景を鑑みますと引き続き留学生の受入れ強化が必要であると考えます。
- 学校との関係が深い企業様を介して小中高校へアプローチすることも可能ではないかと考えます。学生にとっても社会貢献活動への動機付けになるのではないでしょうか。
- 少子化が進行する現代では主要出願エリアである大阪府、兵庫県、和歌山県の学校との絆強化は重要であり、今後も取りこぼしの発生が無きよう、必要なリソースの投入をお願いしたいと思います。

基準８：財務

ご意見・ご提言は御座いませんでしたが、更なる発展に向け今後共、引き続き取組んで参ります

基準９：法令等の遵守

ご意見・ご提言は御座いませんでしたが、更なる発展に向け今後共、引き続き取組んで参ります

基準１０：社会貢献

- 学生のボランティア活動に感銘しました。休日にも関わらず大勢の学生がビーチクリーン活動行うなど、社会貢献の心を育む教育方針が浸透している証拠だと考えます。
- 重大事故以外の違反等が減少しない傾向は、一方で重大事故を発生させる要因を常に抱えている状況にあると言えるのではないでしょうか。校外授業による安全運転の知識と技術を学ぶ場等、対策は施されていると思いますが、今後も減少しない傾向が継続される場合は、交通安全の教育に関する抜本的な見直しが必要と考えます。
- 自動車や二輪車に興味関心があり、運転が好きであることは大変喜ばしいことですが、事故・違反の発生については、社会の要求や自身が社会人になることを視野に入れた指導を引き続きよろしくお願いいたします。

その他

ご意見・ご提言は御座いませんでしたが、更なる発展に向け今後共、引き続き取組んで参ります

■ まとめ

- 大変ご丁寧に様々な取り組みについてご説明いただきまして質問にも真摯にお答えいただきまして、誠にありがとうございました。
- 入学、学生への教育、そして卒業の三段階に分けたときに、それぞれきちんと問題課題を整理されていて、年々進化されていると改めて実感致しました。
- 入学者数についてはリバイバルプランに基づいて複数年かけて着実に実行されている結果が出ていると実感しました。
- 引き続き優秀な学生の輩出をぜひお願いしたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。